

<< 注意報 >>

岡病防第5号

平成30年4月19日

各関係機関長殿

岡山県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報の発表

病害虫発生予察注意報第1号を下記のとおり発表したのを送付します。

平成30年度病害虫発生予察注意報第1号

平成30年4月19日

岡山県

病害虫名 **モモせん孔細菌病**

1. 発生が予想される地域

県下全域

2. 発生 of 蔓延が予想される時期

4月中旬以降

3. 予想される発生程度

多

4. 注意報発令の根拠

(1) **4月18日の巡回調査における春型枝病斑の発生圃場率は50.0% (28圃場のうち14圃場で発生)**

で、平年値(0%)より高い。直近の13年間では4月時点での発生を認めておらず、**発生時期も極めて早い**。

(2) 前年のモモせん孔細菌病の発生は平年よりやや多く、越冬伝染源量が平年より多かったと考えられる。

5. 防除対策及び防除上の参考事項

(1) 発病枝は伝染源となるので見つけ次第除去し、処分する。また周辺の発病葉もつま取る。

(2) 果実への感染を防止するため、早めに袋かけを行う。袋かけは、下記の薬剤を散布後速やかに行う。

(3) 病原菌は葉や果実の自然の開口部(気孔など)や傷口から侵入するので、風当たりの強い圃場では防風ネット等の防風対策を施す。

(4) 平成30年度植物防疫情報第1号(4月6日発表)参照。

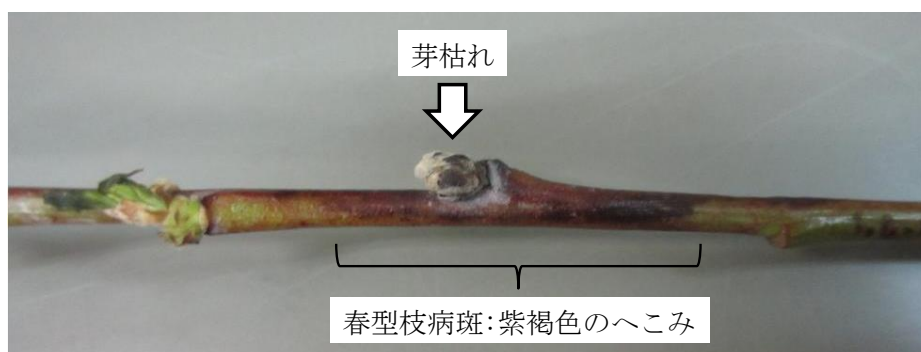
【主なせん孔細菌病の防除薬剤】

(H30. 4. 18現在)

薬剤名	農薬使用基準		
	希釈倍数	時期	回数
ストレプトマイシンを含む剤 ストマイ液剤20 アグレプト液剤、同水和剤 ヒトマイシン液剤S マイシン20水和剤 アグリマイシン-100	1,000～2,000倍 1,000～2,000倍 250～500倍 1,000～2,000倍 1,500倍	収穫60日前まで	総使用回数 2回以内
スターナ水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	3回以内
バリダシン液剤5	500倍	収穫7日前まで	4回以内
マイコシールド	1,500～3,000倍	収穫21日前まで	5回以内
マスタピース水和剤 ^{注1)}	1,000～2,000倍	収穫前日まで	—

注1) マスタピース水和剤は微生物殺菌剤であるため単用が望ましい

薬剤の使用に当たっては農薬使用基準を厳守し、人畜、水産動物等への危害防止に努め、安全・適正に使用するとともに、周辺農作物等へ飛散しないよう十分注意する。なお、**この時期、早生品種では薬剤の使用時期（収穫前日数）を十分確認する必要がある。そのため、特に早生品種との混植園での薬剤散布には十分注意する。**



春型枝病斑



葉の症状



幼果の症状

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。
 アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。

